

令和 7 年度岡山県図書館協会総会議事録

日時：令和 7 年 6 月 9 日（月）10:30～12:00

場所：岡山県立図書館 2 階多目的ホール

出席 個人 16 施設会員 7

委任状 個人 169 施設会員 64

1 開 会

- ・定数確認

出席者と委任状が構成員（個人・施設会員計 359）の半数以上のため会は成立。

- ・大西会長あいさつ

2 議長選出

- ・大西会長が議長に選出

3 議 案

（1）令和 7・8 年度役員の選出 [資料①]

- ・資料に沿って事務局から説明

承認

（2）令和 6 年度事業報告・収支決算報告・監査報告 [資料②③④]

- ・資料に沿って事務局から説明
- ・監事欠席のため、代理で議長が監査報告

承認

意見：事業の多くが研修会で、多様な形態で開催している。会員から、会場が良いやオンラインが良いなど、意見を聞いているなら教えていただきたい。

回答：研修の内容は、企画委員からの要望をできる限り取り入れて開催している。実技も取り入れているが、それでも来場が難しい状況がある。事業報告にもあり、YouTube での後日配信での参加者が多い。

意見：会員相互の対面交流が最近少なくなっていることを懸念している。オンラインより会場で受講したいという意見はあるのか。以前は、休館日での研修の要望が多かった。今の図書館では、仕事の一環で参加しているようだ。会員皆さんから意見・感想があれば、お聞きしたい。

意見：図書館協会では、公共図書館の方だけでなく大学図書館や個人会員の方もいるので幅が広い。ご存じの方もいると思うが、青年図書館員研修会では公共図書館の方が所属している。青年図書館員研修会では、近年研修ができていない。図書館協会では、様々な所属の方がいるので、交流ができればよいと思う。

意見：岡山大学の事例では、図書館で年に 2 回程度イベントをしているが、主催者の方からオンラインがあると参加者がオンラインに流れてしまって現地参加が少なくなると懸念をいただいた。その際は、オンラインの方が多かったが、現地も

多く集まり、現地参加された学生の間で交流が生まれたため、やはり現地参加は大事だと感じた。ただ、オンラインがあるとその時間参加できない人も後日、YouTube 配信で見られると便利だと私も参加者としては思う。午後の研修も YouTube で申し込んでおり、様々な参加方法があれば、それぞれご都合に合わせて参加ができるので対面だけではなく様々な方法があるとありがたい。

意見：新しく建設された図書館の見学等の企画があれば、図書館員同士交流する場になるのかなと思う。以前は、青年図書館員研修会で見学会をしていた。どちらがするかというところはあるが、青年図書館員研修会の活動もできてないため、県の図書館協会で企画をしていただくのも 1 つ案としてはあるかと思った。

議長：私も図書館協会に関わらせていただいて 3 年目で、非常に強い懸念を持っているのが、研修への参加が特にコロナ以降は顕著に低くなっているということだ。それぞれの図書館や個人の皆様のご都合があるかと思う。その意味では、Zoom や YouTube は参加をしていただくという面では良い面があるが、先ほどご意見にもあったように、交流や実技的な面ではやはり不利な面もあり、非常に課題だ。先程の問題提起は、図書館協会にとっても非常に重要なことだと痛感をしている。研修について、基本的に様々な所属の代表の方に出していただき、企画委員会で検討をしていただいているとのことなので企画委員にも伝えて、今後の計画を立てる際の参考にしていただき、色々なパターンを試してみるのもいいかと思う。今年度企画委員会で検討していただきたい。

意見：企画委員会に伝えるということだが、開催日については、いろいろ事情があるが、公共寄りのテーマであれば休館日が多い月曜日を検討することや、月曜日に県立図書館を使用するのが難しいのであれば、岡山市立中央図書館を使うなど何か工夫をしていただければと思う。また、研修後に交流時間を設けることが可能であれば、講師の先生にも残っていただくなど、対面だと何か特典があるという形にできたらよい。

回答：来場の方には交流時間を取り入れていけたらと思う。

意見：オンラインの方も参加できると良い。

(3) 令和 7 年度事業計画（案）・収支予算（案）[資料⑤⑥]

・資料に沿って事務局から説明

承認

意見：先程と同じ問題意識だが、個人会員が 18 名退会されたという中で教養講座が協会以外の方との機会になるかと思う。この PR になる活動は、協会の活動の一環でもあり、地域への貢献でもあるかと思う。昨年度の教養講座は、会場が県立図書館で、土曜日は来館者が多い日と思うが、会場が 14 人では寂しいと感じた。ポスターやチラシを様々な場所に掲示や配布をするなど、来場が減っているので、増やす方法を考えていただきたい。

また、講義方式の講演だけではなく、協会が県民の方に協会の活動を PR する時間も設けたらどうか。また、調査研究の欄に協会としての調査がない。以前は、何

かあれば調査委員会を作ったことがあった。例えば年報に近いような経年変化をグラフ化する等。広く会員を募るようなイメージと協会の状況や県内の図書館の状況を組み合わせるようなものを作れば、協会のPRになるのではないかな。

議長：県図書館協会としてもっと活発にしたいという話だったかと思う。活動をもっと活発にしたいという思いは持っているが、それぞれ事務局側も会員の側もなかなか余力や時間を生み出しにくい環境にあるかと思う。ただ、活動が低調と気になるところではある。

意見：繰越金が多いため、お金を使って調査をお願いするということができれば良い。事務局側も企画委員会の方も県図協のことで動くのは難しいという事情があるかと感じる。また、他の団体もしていれば、県図協の活動はしない人もおられるかと思う。繰越金を使って調査研究するなり公募事業をするなりしてはどうか。周年事業の際には、色々しているとは思う。

回答：繰越金は一見多めに見えるが、80周年に向けて等先々の部分に対して少し余裕も必要かというところだ。この後ご協議いただきたいが、会員の皆様に有効に活用いただきたく、研修助成の提案を用意している。色々な形で自主的な活動が活発化できるような仕組みができないかいうところも併せて、今日協議いただけたらありがたい。

意見：4月から図書館に参加しているが、実際に図書館へ行ってみるとデジタルブック等が導入されており、図書館はもちろん紙媒体としての知的財産が極めて重要なものであると思うが、デジタル系のものが入ってきている。大学図書館は研究の問題で特に海外のデジタル系のものを揃えようとするともうすごい金額になる。今年度すぐにではないだろうが、今後公共図書館ではデジタル情報の扱いをどうしていくのかや、あるいは大学図書館との連携を図ってデジタル化する。新聞も紙媒体からデジタルへ多く移行しているので、それらの情報提供や予算の問題などについてどこかで議論する機会を色々考える必要がある。

意見：デジタル情報のことは、公共図書館から見ると大学図書館は随分前からデジタル情報が入っていると噂には聞くが、実際の状況がわからない。協会は大学の方も公共の方もその他の方もいらっしゃるのがメリットなので、状況が知れば公共もこれからどんなサービスを提供するか、大学卒業された後の事もあるので、知られたらいいなと感じた。

意見：公共図書館は、あまり予算化されていないのか。

意見：予算化されているかまではわからない。大学は学術情報などがどんどん電子化されているイメージだ。一般の図書は、著作権の問題がある。大学の研究者や学生はデジタル情報に慣れていて、使うスキルも高い。公共は幅広い方が対象。ただ、公共と大学でのお互いの状況がわかりにくいのは確か。

意見：デジタル岡山大百科を県立でされているので、例えばそれを活用して皆さんで、使い方を共有できるといいと思った。岡山大学でも接続できるようにしていると

のことなので、その辺活用していただけるといいと思った。

別件で研修の活性化は、会場を別の場所に移すことは、良いと思った。例えば、今回新しく開館したところを使わせていただくのか、会員館例えば岡山大学図書館も会場として使っていただける場所があるので、もしよろしければお知らせいただければ協力はできる。図書館へ行ってみたいなということで現地参加が増えるとう面もあると思う。やる方は大変だが、年に1回は別の場所があるといいと思った。

議長：協会にはいろんな立場の方がおられるが、立場を超えた部分への理解がまだまだ進んでいないものもあるかと思う。そういった意味でも他の公共や大学を知るとか個人の方が別のところを知るという視点もあっても良いと思ったため、今後検討させていただく。

(4) 研究助成・研修参加助成の対象について〔資料⑦〕

・資料に沿って事務局から説明

承認

意見：提案2の推薦をするタイミングは、今なのか、それとも今後事業の実施が決まってからなのか。

回答：年間通じて受け付ける。

意見：スキル向上応援事業は、年間1,000円上限ということだが、1人がということか。

回答：1人1回当たり、上限500円で、2回までなので、1人当たり1,000円となる。

意見：1人というのは、参加者なのか申請者なのか。

回答：参加者である。3名以上であれば、事業に参加した人数分。

意見：上限は設けないのか。

回答：現時点では、設けない。試行で始め、回数や上限等はやりながら見直しがあればと考えている。

意見：会員が対象なのか。

回答：個人会員が対象。

意見：スキル向上応援事業実施要領は、自主的な研修を応援しようというのでとても良い企画かと思うが、先ほど助成するのは個人の方ということだが、必要書類に代表者の通帳のコピーとある。個々の自分の振込口座とかではなく、代表者の方でまとめてということか。

回答：代表者の方に申請をしていただき、参加者名簿を添付してもらおう。口座は代表者のみと考えている。

意見：代表者の通帳は口座番号のみではなく、通帳のコピーが必要なのか。インターネットバンキングの場合は通帳がないがどうするのか。

回答：その方の口座の状況に応じて、確認ができれば良い。

(5) その他
意見なし

4 その他

(1) 研究奨励金について

- ・1 件申請があったが、先の理事会で研究の成果物としては不十分と認められるため、交付は不相当と決定したことを報告。

(2) 企画委員の変更〔資料⑧〕

- ・資料に沿って事務局から説明

(3) その他

意見：報告事項の中のため、意見として受け取って結構だ。企画委員の規則第4条では、会員の中から会長の委嘱を受けた委員10名程度で構成され、任期は2年とする。という記載があり、現在は9名ということだ。その企画委員が図書館員だけになっているが、10名程度のため、もう1、2名、例えばボランティアや書店出版社関係の方など、会報の編集など直接私が申し上げた趣旨とは違う部分があるかと思いますが、そういった方に入ってもらった方が県民との話をすることに協力をいただけるかと思う。検討の余地があるのかないかを総会で議論しなければならないかと思うが、会長が委嘱すれば良いということであれば、増やすことも可能かと。手を上げていただく方をどうやって選ぶか、難しいかもしれない。どちらかといえば充て職で公平性を担保しているかもしれないが、なにか良い工夫とかお知恵があれば教えていただければと思う。また、教養講座をもう少し増やす等、市民県民とのふれ合いの場を増やすとか、これからのテーマも定例的なテーマ、例えば基本的な図書館の自由に関わる問題やボランティア等の会との集まり、市民県民との図書館の関係や、読書の楽しみ、あるいは書店が減っている問題等。企画委員ということではその都度ご苦労されていると思うが、個人会員の方々と図書館員だけじゃない県の協会の方がするようにしていたらどうか。また、教養講座の参加が16名の会員が何名で非会員が何名でというのがあっても良い。

回答：いただいたご意見は、事務局で検討する。

5 閉 会